

2-Lesson 5

Let's go to Italy.

単元目標

- ・自分の思いがはっきり伝わるように、おすすめの国について発表したり、友達の発表を積極的に聞いたりしようとする。
- ・行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。
- ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付く。

単元評価規準

- ・自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、おすすめの国について発表したり聞いたりしている。
- ・行きたい国について尋ねたり言ったりしている。
- ・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。

表現

I want to go to Italy. Where do you want to go? Let's go.

America, Australia, Brazil, China, Egypt, France, Greece, India, Japan, Spain, eat, see

単元計画（4時間）

時	目標と主な活動	評価			
		コ	慣	気	
1	<p>国名の言い方を知る。</p> <p>【P 1】「() に国名を書こう。」</p> <p>【L 1】「どの国の世界遺産か考えよう。」</p> <p>【P 2】「国旗クイズを作ろう。」</p> <p>○「先生の行きたい国クイズ」ヒントを聞いて、指導者がどの国に行きたいのか考える。</p> <p>【C】“Let's go to Italy.”バージョン①</p> <p>○「キーワードゲーム」</p>				<p>本時では、原則として評価結果は記録しないが、目標に向けての指導は行う。</p>
2	<p>行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○「ミッシングゲーム」</p> <p>【C】“Let's go to Italy.”バージョン①</p> <p>○「ステレオゲーム」</p> <p>【C】“Let's go to Italy.”バージョン②・③</p> <p>【L 2】「わかったことを書こう。」</p>		○		<p>・国名を聞いたり言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p> <p>・行きたい国について聞いている。＜行動観察・誌面点検・振り返りカード点検＞</p>
3	<p>行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>【C】“Let's go to Italy.”バージョン①</p> <p>○「キーワードゲーム」</p> <p>○「ラッキーカードゲーム」</p> <p>【P 3】「友達に行きい国をインタビューしよう。」</p> <p>【C】“Let's go to Italy.”バージョン②・③</p>		○	○	<p>・行きたい国について尋ねたり言ったりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p> <p>・行きたい国について尋ねたり言ったりしている。＜行動観察・誌面点検・振り返りカード点検＞</p>
4	<p>世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付くとともに、自分の思いがはっきり伝わるようにおすすめの国について発表したり、積極的に友だちの発表を聞いたりしようとする。</p> <p>【C】“Let's go to Italy.”バージョン②・③</p> <p>【A】「おすすめの国を紹介しよう。」音声教材を聞いてわかったことを誌面に書く。次に、自分のおすすめの国を発表し合う。</p>	○	○		<p>・自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、おすすめの国について発表したり聞いたりしている。＜行動観察・振り返りカード点検＞</p> <p>・世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。＜行動観察・振り返りカード分析＞</p>

2-Lesson 5 Let' s go to Italy. 1/4 時間

目 標 国名の言い方を知る。

準 備 教師用絵カード (国旗・食べ物・動物・スポーツ・チャンツ用), デジタル教材, (振り返りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Play 1】 p. 18</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知っている国を発表する。 ・誌面 p. 18 の国旗で知っているものを発表し, それを確かめるために音声教材を聞く。 ・() に国名を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・知っている国や, どのような場面でその国名を聞いたか尋ねる。 ・誌面にある国旗の国名を知っていれば発表させ, () に国名を記入させる。音声教材を聞かせ, 国名を確認させる。 ・日本語と英語での国名の言い方の違いに気付かせるようにする。 	デジタル教材
<p>【Let's Listen 1】 p. 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面の世界遺産で知っているものを発表する。 ・音声教材を聞いて, 世界遺産名を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p. 18, 19 の世界遺産の写真を見て, 知っているものを発表させる。 ・音声教材を聞いて世界遺産名を確かめさせる。 ・誌面写真の清水寺以外の日本の世界遺産についても触れる。 	デジタル教材
<p>【Let's Play 2】 p. 18, 19</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国名を言って確認する。 ・10 種類の国旗の模様にある, 色や形を言う。 ・音声教材を聞いて, どの国の国旗か考えて答える。 ・音声教材のクイズを参考に, グループで国旗クイズを作って発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国名を確認しながら, 教師用絵カードを黒板に貼る。 ・それぞれの国旗の模様について, 色や形の英語を使ってどのように説明できるか尋ねる。 ・音声教材を聞かせ, どの国の国旗か考えさせる。 ・グループで相談して, 10 種類から選んで国旗のクイズを作らせる。 	教師用絵カード (国旗) デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> ○先生が行きたい国クイズをする。 ・ヒントを聞いて, 指導者がどの国に行きたいか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に貼った 10 種類の国旗の国で, 行きたい国について I want to eat/see/play ~. を使って, ヒントを出す。 ・ジェスチャーをつけ, 食べ物や動物, スポーツの教師用絵カードを見せながらヒントを出す。 	教師用絵カード (食べ物・動物・スポーツ)
<p>【Let's Chant】 “Let's go to Italy.” バージョン① p. 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞いて, 絵カードを見ながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声教材 (バージョン①) を聞かせ, 教師用絵カードを見せながら, 一緒に言う。 	教師用絵カード (チャンツ用) デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> ○キーワードゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 5 参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・国名を, I want to go to ~. の表現を使って言う。 	教師用絵カード (国旗) デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

評価規準

原則として, 評価結果は記録しない。

<p>2-Lesson 5 Let's go to Italy. 2/4時間</p> <p>目標 行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>準備 教師用絵カード(国旗・チャンツ用), デジタル教材, (振り返りカード)</p>
--

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 	
<ul style="list-style-type: none"> ○ミッシングゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照) ・国名を言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・黒板に教師用絵カードを貼る。 ・児童に目を閉じさせ, その間に黒板に貼ってある教師用絵カードから1枚を抜く。 ・目を開けさせ, What's missing? と尋ねる。 	教師用絵カード(国旗) デジタル教材
<p>【Let's Chant】 “Let's go to Italy.” バージョン① p. 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞いて, 絵カードを見ながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前の活動の流れから, チャンツに入る。 ・音声教材(バージョン①)を聞かせ, 教師用絵カードを見せながら, 一緒に言う。 	教師用絵カード(チャンツ用) デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> ○ステレオゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照) ・誰がどこの国に行きたいか聞き取る。 ・指導者と一緒に, Where do you want to go? と質問をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表児童に教師用絵カードから, 行きたい国の国旗を選ばせ, ほかの児童に見えないように持たせて1列に並ばせる。 ・初めは, 指導者が代表児童に Where do you want to go? と尋ねるが, 慣れてきたらほかの児童も一緒に尋ねさせる。代表児童は, 実態に応じて, 国名だけを答えさせたり, I want to go to ~. で答えさせたりする。 ※評価① 	教師用絵カード(国旗)
<p>【Let's Chant】 “Let's go to Italy.” バージョン②・③ p. 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞いて, 絵カードを見ながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に合わせて, バージョン②(I want to ~.) やバージョン③(I can ~.) の音声教材を聞かせ, 教師用絵カードを見せながら一緒に言う。 	教師用絵カード(チャンツ用) デジタル教材
<p>【Let's Listen 2】 p. 20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞いて, きよこがどこに行つて何をしたいのか考えて, 誌面に書く。 ・わかったことを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p. 20 の3枚の写真を見せた上で, 音声教材を聞かせ, きよこがどこに行つて何をしたいのか考えさせ, わかったことを誌面に記入させる。 ・発表させる。 ※評価② 	デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

評価規準

①国名を聞いたり言ったりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

②行きたい国について聞いている。【慣】 <行動観察・誌面点検・振り返りカード点検>

<p>2-Lesson 5 Let' s go to Italy. 3/4時間</p> <p>目 標 行きたい国について尋ねたり言ったりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>準 備 教師用絵カード (国旗・チャッツ用), デジタル教材, (振り返りカード), 巻末児童用絵カード (国旗 : p. 45 下段 あらかじめ切り分けさせておくとよい)</p>

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。 	
<p>【Let's Chant】 “Let's go to Italy.” バージョン① p. 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞き, 絵カードを見ながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声教材 (バージョン①) を聞かせ, 教師用絵カードを見せながら, 一緒に言う。 	<p>教師用絵カード (チャッツ用)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>○キーワードゲームをする。</p> <p>(指導編 Hi, friends! 2 p. 5 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導者に, Where do you want to go? と尋ね, 指導者がキーワードの国名を言ったら消しゴムを取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に Where do you want to go? と尋ねさせ, I want to go to ~. と答える形でゲームをする。 	<p>教師用絵カード (国旗)</p> <p>デジタル教材</p>
<p>○ラッキーカードゲームをする。</p> <p>(指導編 Hi, friends! 2 p. 31 参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで, 各自巻末児童用絵カードを用意してゲームをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各児童に巻末児童用絵カードを用意させる。 ・児童に, Where do you want to go? と隣に尋ね, I want to go to ~. で答え, ゲームを行わせる。 <p>※評価</p>	<p>巻末児童用絵カード (国旗)</p>
<p>【Let's Play 3】 p. 20</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞いて, 誌面 p. 20 の表に, さくら, ひかる, ともえの行きたい国やその理由などを書く。 ・音声教材を参考に, 友達に行きたい国についてインタビューする。教室を移動して, 出会った友達に行きたい国を尋ね, 国名とその理由を誌面 p. 20 の表に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・田中先生がさくら, ひかる, ともえに行きたい国について尋ねている状況であることを知らせた上で, 音声教材を聞かせ, 行きたい国やその理由などを誌面 p. 20 の表に書かせる。 ・音声教材を参考に, 友達に行きたい国についてインタビューさせる。 <p>※評価</p>	<p>デジタル教材</p>
<p>【Let's Chant】 “Let's go to Italy.” バージョン②・③ p. 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞いて, 絵カードを見ながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に合わせて, バージョン② (I want to ~.) やバージョン③ (I can ~.) の音声教材を聞かせ, 教師用絵カードを見せながら一緒に言う。 	<p>教師用絵カード (チャッツ用)</p> <p>デジタル教材</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次時に, 自分のおすすめの国を紹介することを予告する。行きたい国について調べたことを書いたり, 絵を描いたりして, 次時までにはポスターを完成できるようにさせておく。 ・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	<p>振り返りカード</p>

評価規準

- ・行きたい国について尋ねたり言ったりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

<p>2-Lesson 5 Let' s go to Italy. 4/4 時間</p> <p>目 標 世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付くとともに、自分の思いがはっきり伝わるようにおすすめ国について発表したり、積極的に友だちの発表を聞いたりしようとする。</p> <p>準 備 教師用絵カード (国旗・食べ物・動物・スポーツ・チャンツ用)、デジタル教材、(振り返りカード)、おすすめ国ポスター (あらかじめ児童に作らせておく)</p>

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。 	
<p>【Let's Chant】“Let's go to Italy.” バージョン②・③ p. 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音声教材を聞いて、絵カードを見ながら言う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音声教材 (バージョン②・③) を聞かせ、絵カードを見せながら一緒に言う。 ・違う国を選ばせ、言葉を考えて言わせる。 	教師用絵カード (国旗・食べ物・動物・スポーツ・チャンツ用) デジタル教材
<p>【Activity】 p. 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p. 21 の写真を見て、さくらとひかるがどこへなぜ行きたいのか推測する。 ・確かめるために、音声教材を聞いてわかったことを、誌面の吹き出しに書く。 ・おすすめ国の紹介の仕方を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誌面 p. 21 の写真を見せて、さくらとひかるのおすすめの国を推測させる。 ・音声教材を聞かせ、わかったことを誌面の吹き出しに書かせる。 ・さくらとひかるのおすすめの国について、児童に行きたいかどうかを尋ねる。 	デジタル教材
<p>【Activity】 p. 21</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行きたい国について発表の準備をする。 ・出会った友達に、自分のおすすめの国を説明する。説明の後、Let's go to ～. と誘う。聞いていた友達は、説明を聞いて行きたいと思ったら Yes, let's. と答え、もう少し考えてからと思ったら、Sorry. と答える。 ・活動後、何人が誘いに乗ってくれたか、誰のおすすめの国に行ってみたくなくなったかなどを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予告しておいたように、行きたい国についてポスターを完成させ、それをもとに発表の仕方を各自に練習させる。 ・教室を自由に移動し、出会った友達に自分のおすすめの国をPRさせる。できるだけ、Yes, let's. と答えてもらえるよう紹介の仕方を工夫するよう促す。 ・自分のPRに対する反応はどうだったか、友達のおすすめの国を聞いてどう感じたかについて、感想を発表させる。 ※評価①② 	おすすめの国ポスター
<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。 ・挨拶をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の気付きや、英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。 ・挨拶をする。 	振り返りカード

評価規準

- ①自分の思いがはっきり伝わるように工夫して、おすすめ国について発表したり聞いたりしている。【コ】 <行動観察・振り返りカード点検>
- ②世界には様々な人たちが様々な生活をしていることに気付いている。【気】 <行動観察・振り返りカード分析>